

入梅から酷暑期までの栽培に特化して育成!  
これでダメなら夏のコマツナはあきらめて!?

# えんか 艶夏 NX-BK036 コマツナ

2013年夏も最低気温が30℃を越えるなど、猛暑日が続きました。東京都、埼玉県や千葉県のコマツナ産地でも収量確保や品質維持に多くの苦労がありました。しかしながら、「艶夏」は猛烈な暑さと乾燥を耐え抜き、さらに開発目標である収量性・在圃性の高さを現場で見事証明しました!



▲栽培地:埼玉県草加市  
「真夏のコマツナとは思えない程の美しい出来栄え!」

## ここが違う!従来の夏用品種より優れた3つの特性

- 違い① 従来品種よりも格段に耐暑性をアップ!高温障害を大幅に低減!
- 違い② どんなに暑くても徒長せずしっかりと株が張ります!収量性はピカイチ!
- 違い③ 生育スピードをあえて抑えて高い在圃性を実現!美しい荷姿を最後まで保ちます!

### ① 耐暑性の高い「艶夏」

炎天下にはハウス内の温度が50℃近くに達します。多くの品種が暑さに耐えられず、カップング(葉縁部が内側に折れ曲がり、カップ状になる)しました。この症状が出ると、収穫作業中や袋詰め時に葉の縁が切れて出荷ロスが増えたり、袋詰め時の作業効率が下がります。「艶夏」なら耐暑性がたいへん高いので、カップングのリスクを大幅に低減できます。



カップングに強い「艶夏」



他社品種

### ② 収量性の高い「艶夏」

「艶夏」の収穫日数は高温期も播種後30日程度と、従来品種よりもじっくりと生育するのが特長です。徒長しにくく、株がより太く仕上がるのが魅力です。また、葉肉がひととき厚く、株重がずっしりと乗るので、束数を稼げるのが魅力です。

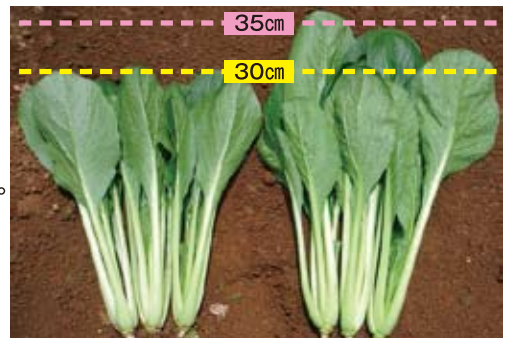
【千葉県船橋市】6月6日播種、7月4日収穫(株間5cm)▶  
ボリュームがあり、全体のバランス感が良好な「艶夏」



### ③ 在圃性の高い「艶夏」

「艶夏」は同じ30日前後で収穫となる品種よりもさらに在圃性を高くしました。収穫期間中に伸びすぎて規格外となる心配もなく、株元がチンゲンサイのように丸く太って荷姿のバランスが崩れることもありません。右の写真のように収穫が間に合わず、規格外になってしまうことがよくありますが、「艶夏」は収穫の最後まで市場評価の高い青果物を出荷することができます。

伸びすぎず、抜群の在圃性をもつ「艶夏」▶  
(7月収穫 播種後30日目)



(左)「艶夏」 (右)従来品種

2014年の厳しい夏は「艶夏」で戦い抜きましょう